

新ふれあい館個別施設計画 (長寿命化計画)

計画期間

〔 自 令和 3年 4月 1日 〕
〔 至 令和13年 3月31日 〕

熊 本 県

苓 北 町

令和3年2月 策定

－ 目 次 －

1 基本事項

- (1) 計画の目的と位置づけ P1
- (2) 計画期間 P1
- (3) 対象施設 P1
- (4) 注意事項 P1

2 施設の現況及び将来の見通し

- (1) 施設の役割と利用状況 P2
- (2) 対策の優先順位の考え方 P2
- (3) 施設の現況、対策内容と実施時期、対策費用 P2
- (4) フォローアップの実施方針 P4

1 基本事項

(1) 計画の目的と位置づけ

本計画は、平成29年3月に策定した「荅北町公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）に基づき、公共施設等の老朽化問題に対応し、財政負担の軽減・平準化を目指していくため、公共施設等マネジメント（保有する公共施設等を有効活用しつつ、施設保有量の見直しや計画的な保全による施設の長寿命化を図るための取組）を推進していくための保健・福祉施設（新ふれあい館）に係る個別施設ごとの具体的な対応方針を示したものです。

また、本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」の行動計画（インフラ長寿命化計画＝総合管理計画）に基づく実施計画である個別施設計画（個別施設ごとの長寿命化計画）として位置づけます。

(2) 計画期間

本計画の計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間とします。

なお、本町を取り巻く社会経済情勢の変化等により、見直しが必要な場合は適宜見直しを行ってまいります。

(3) 対象施設

本計画の対象施設は、総合管理計画における施設分類の「保健・福祉施設（新ふれあい館）」とします。

分類	施設	建築年度	延床面積(m ²)	構造
保健・福祉施設	新ふれあい館	昭和55年度 (1980年度)	367.62	鉄筋コンクリート

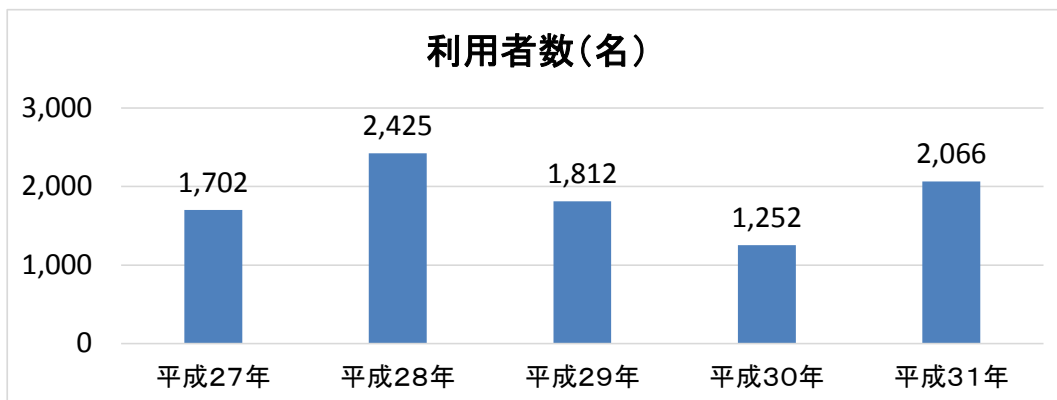
(4) 注意事項

本計画は、いつ、どのような予防保全のための改修や更新・補修等が必要なのかを記載していますが、今後、当該施設を取り巻く状況は随時変わっていくため、建物・設備等の劣化状況を見ながら、定期的に計画を見直す必要が生じます。

2 施設の現況及び将来の見通し

(1) 施設の役割と利用状況

新ふれあい館は、主に苓北町社会福祉協議会に委託された、子育て支援センターの事業の場として活用されています。年間約1,850名の利用（相談：230件、サポート：31件含まず）があり、苓北町における、子育ての支援拠点として、役割を果たしています。



(2) 対策の優先順位の考え方

施設内の老朽状況、施設の役割や機能、利用状況等を考慮し、施設の劣化度等に基づき、対策の優先順位を決定します。

建物の目標とする使用年数につきましては、苓北町公共施設等総合管理計画により、法定耐用年数を超えて使用することを目標とし、本計画においては、50年とします。今後も安全に資産として活かすことを念頭に、計画的な改修を図ります。

※耐用年数 鉄筋コンクリート その他のもの 38年

(3) 施設の現況、対策内容と実施時期、対策費用

①診断方法

以下の区分のとおり施設を機能（ソフト）と建物等（ハード）に分け評価を行いました。

区分	劣化度	評価の説明
機能 (ソフト)	A	概ね良好な状態
	B	局所的に劣化が見られ、部分的な補修等が必要な状態
	C	広範囲に劣化が見られ、大規模な補修が必要な状態
	D	劣化の程度が大きく、大規模な補修が必要な状態
建物等 (ハード)	A	概ね良好な状態
	B	局所的に劣化が見られ、部分的な補修等が必要な状態
	C	広範囲に劣化が見られ、大規模な補修が必要な状態
	D	劣化の程度が大きく、大規模な補修が必要な状態

②診断結果

	施設名	評価		備考
		機能（ソフト）	建物等（ハード）	
1	建物	—	B	平成23年度 大規模（防水等）工事实施
2	冷暖房・換気設備	A	—	平成23年度 大規模（防水等）工事实施
3	給排水衛生設備	A	—	平成23年度 大規模（防水等）工事实施

③対策内容と実施時期、対策費用

	施設名	対策内容	対策時期	耐用年数
1	冷暖房設備	冷暖房設備の更新	令和8年度	15年

※施設の老朽化・事故等により、修繕が必要になった場合は、適宜修繕を行う。

(千円)

	施設名	評価	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
1	建物	B										
2	冷暖房・換気設備	A						5,000				
3	給排水衛生設備	A										
4	消耗品・その他	B	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
合計			50	50	50	50	50	5,050	50	50	50	50

(4) フォローアップの実施方針

本計画を着実に推進していくためには、以下のPDCAサイクルに基づき、継続的に計画の評価・見直しを行いながら推進していきます。

